

令和3年度 オンラインプログラム(夏コース) 報告書

外国語学部 東アジア学科 名前:平 奈生

派遣先	中国
派遣校・コース名	北京語言大学 短期中国語速成オンラインコース
派遣期間	令和3年 8月4 日～8月31日

1. オンラインプログラム(夏コース)を申し込んだ動機について

今回夏のオンラインプログラムに応募した理由は、私は将来グランドスタッフになり、日本と世界をつなぐ人になりたいと考えているからです。世界一の人口を誇る中国の大学で中国語を学べるのは、数少ないチャンスだと思い申し込みました。語学力の向上を目標に、夏休みを利用してオンラインで北京語言大学の講座を一ヶ月間取り組むことで、中国語に専念して、発音文法ともに習得したいと思いました。現地の先生の生の発音を耳にすることで中国語の音に慣れ、4技能全てが向上できるようにしたいと思いました。北京語言大学のオンライン講座は、クラス分けテストがあり、自分のレベルにあった授業を受けることが可能であるため、参加したいと思いました。

2. オンラインの授業について

○参加したコース(レベル): B

○コースの内容(授業内容、良かった点、悪かった点、反省点、感想など):

授業の内容は、主に教科書に沿った内容でした。1、2時限目と3、4時限目に分かれており、2人の先生が教えてくださいました。1、2時限目は単語や文法の授業で、3、4時限目は教科書の課の本文についてと、1、2時限目の復習を中心にしていました。1、2時限目では、毎回全員に先生が指名して、単語の発音をチェックします。拼音がなくても発音ができるかチェックまであるので、とても自分の発音が綺麗になりました。文法では、言い換えるとこの単語の意味になるというところまで教えてくださったので、同時にたくさんの単語、文法を覚える事ができました。そして、意味の説明が終わった後、自分で文を作ったり、下線部に入る中国語は何か考え発言したり、自分で考えて理解できていないようなところもあり、語学力である4技能全てを向上させる事ができたと思います。3、4時限目でも毎回全員に先生が指名して、本文を読んでいました。その中でも、本文についてしっかりと内容理解ができているか、要約しながら授業を進めていました。単語の置き換えや、細かい部分まで理解が瞬時にできていない時があって、とても苦戦しました。しかし、どんどん授業を受けていくにつれ、内容がしっかり理解できるようになり、楽しく授業を受ける事ができました。授業内でよかった点は、単語で意味が似ているものの使い分けなどを例文に通して学ぶ事ができた事です。この場合はこの単語を使う、ということを理解する事ができました。特によかった点は、生徒自身が習った文法を使って、例文を作る事です。理解していないと文を作って、自分の気持ちや状況を伝える事はできないので、とても良かったです。一方悪かった点は、時間内に先生からの説明が終わらずに、自分たちで教科書を見て課題をするときは、たくさん時間がかかってしまい、大変でした。課題を先生に送り、解答が送られてくるまで時間がかかり、それまでの間自分がどこが間違っているか分からない状況だったので、大変でした。しかし、筆記試験前に2日間今までの復習期間を作っただけ、習ってきたものをさらに習得させる事ができたので、嬉しかったです。初めは4週間長いなと感じていましたが、受けていくにつれ、あっという間

に最終日を迎えました。授業内容は、毎回濃いものであったため、復習と予習はとても大事だと感じていました。

○文化授業及び学生交流に対する感想：

文化授業について

私が参加した北京語言大学の短期中国語速成オンラインコースでは、プラス料金でいくつかの文化体験ができるのですが、私は体験していないため、授業内で先生からの中国の伝統文化や祝日などを知る事ができました。知らない事がほとんどで、日本との違いに驚く事が多かったです。中国の仕事時間の言い方を教わり、京劇についても教えてもらいました。授業の休憩時間では、中国の歌を聞かせてもらい、邦楽と洋楽ばかり今まで聞いていたので、とても興味が湧きました。独特な曲調でとても頭に残るようなメロディーで、プログラムの中でおすすめの曲などをたくさん紹介してもらいました。中国の広大さも改めて知りました。各地域によって季節、天気も違っているので、例文を作りながら、学ぶ事ができました。

学生交流(クラスメイトや現地学生との交流)の感想

授業内で会話文を交互に読んだりする事はあったのですが、深い交流はなく、授業がメインでした。Wechat というアプリで、日本人の 1 人の学生とは連絡を取り合っていました。毎回授業終了後に課題が出されるのですが、分からない時などは相談をしていました。オンライン授業ということもあり、交流は少なかったです。

3. プログラムに参加して、学んだこと、自分が得たもの、参加前の自分とどう変わったか等

プログラムに参加して学んだことは、コミュニケーション力、積極性、そして知識力の大切さです。授業のスピードが早いなか、授業の時間内に単語の意味や使い方まで理解するためにコミュニケーション力は大事だと思いました。この時にも積極性が大事だと思いました。発言せずにいるのは、発音も理解できず、どうしてその文が作られるのかも分かりません。自ら発言していかないと、中国を習得できないと感じたため、積極的に授業を受けていきました。参加前の自分と比べて、中国語力を向上する事ができ、また夏休みを有意義に使う事ができたので、何事にも進んで挑戦するようになりました。参加する前までは、あまり自分から積極的に物事に取り組む事は少なく、やらなければいけないことだけを行っていました。しかしプログラムの中で、授業についていくためには復習と予習は必須で、筆記試験と口語試験があるため、毎回授業が終わった後も三時間以上勉強していました。このことから、積極的に、自主的に行動するようになったと思います。

4. プログラム全体に対する感想、反省

私は今回のプログラムでとても楽しみながら学ぶ事ができました。初めは、全て中国語で説明されるため、聞き取れない事が多かったのですが、授業を受けていくに連れて、「ここではこう言っている」とすぐにわかるようになってきました。例文を作って発表する時間があり、普段はあまり積極的に発言しないのですが、プログラムの授業では積極的に発言する事ができました。日本の文化について先生が質問してくださったり、韓国人の生徒もクラスにいたため、韓国の文化についても学ぶ事ができまし

た。今回参加して、私の語学力は向上したと思います。日常生活で使う文や、文法、発音など今まで自信がなかった事が、しっかりと理解し使う事ができるようになったので、参加して良かったと思いました。毎授業必ず4回以上当てられて、発言する事がりましたが、戸惑ってしまう事がりました。何を言えいいか分からずにいた時があったので、もっと復習や予習をしておけば良かったと思いました。そして、オンライン授業のため、なかなかクラスの方々と話す機会がなかったので、授業後にも話したら良かったです。

※次年度の参加者の参考のために以下のことを教えてください。

5. 体調管理および生活リズムの作り方やその他アドバイスがあれば教えてください。

風邪をひく事はありませんでしたが、コロナウィルスが蔓延している時期だったため、あまり私用で外出する事はありませんでした。4週間決まった時間に始まるので、アルバイトは自分がしっかりと両立できる程度であればいいと思います。プログラムの終盤に筆記試験と口語試験があります。私は直前で気づいたので、授業が終わった後も毎日復習と予習をして、気を緩めずにコツコツする事が大事だと思います。授業内では、たくさんの生徒と一緒に受けているため、なるべく間違っても話す事が大事だと思います。積極的に話すことで、先生からもプラスアルファで教えてもらえたので、発言して良い時は、恥ずかしがらずにたくさん発言することが大事です。そうすることで、自分自身も覚えていくのでいいと思います。

